

メインテーマ：「チャレンジ支援に関する施策・事業について」

1 男女共同参画センターの概要

- (1) 名称：「男女共同参画センター」
- (2) 所在地：盛岡市盛岡駅西口「いわて県民情報交流センター（アイーナ）」6階
- (3) 開設年度：平成18年4月1日
- (4) 運営主体：特定非営利活動法人「いわて翼の会」

男女共同参画センターの運営

- ・ 「いわて県民情報交流センター」は別法人が指定管理者として管理受託。
- ・ 「男女共同参画センター」は「青少年活動交流センター」、「NPO活動交流センター」等とともに「いわて県民情報交流センター」内の一施設として入居。
- ・ 「男女共同参画センター」の運営業務を「いわて翼の会」が業務受託。

- (5) 開館時間：

曜日	開館時間	相談受付時間
月・水・木	9:00～19:30	9:00～16:00
火・金	9:00～20:00	9:00～20:00
土・日	9:00～17:30	9:00～16:00

- (6) 設置目的： 男女共同参画社会の実現に向けて、**県民が自主的、主体的に活動し、交流するために、情報、学習、相談、活動**の4つの基本的な機能に沿って様々な事業を行う拠点施設として設置。

- (7) 所掌事務：

情報収集・提供、発信機能

男女共同参画に関する様々な分野の情報を広く収集し、県民がいつでも気軽に活用できるように運営すること。

啓発、研修・学習機能

男女共同参画の普及・啓発や、広く県民のライフサイクルに応じた研修・講座の企画、運営を行うこと。

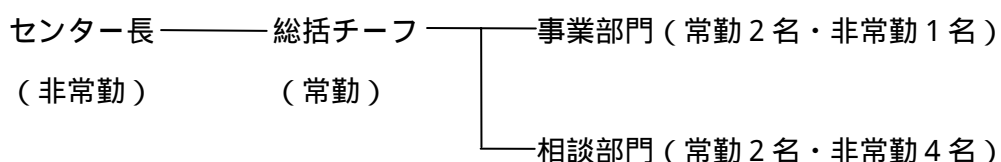
相談機能

男女が共に自分らしく生きていくうえで、様々な不安や悩みを抱えている人のための一般相談や、法律・健康・DVなどの専門分野に関する相談まで、総合的な相談を行うとともに、国や県の各相談機関との連携体制を図ること。

活動・交流、連携機能

団体活動室やラウンジ等を活用し、男女共同参画に向けた県民の自主的な活動や各種団体の相互の連携・交流を企画、運営すること。

- (8) 組織・職員体制：



平成19年度男女共同参画関連事業計画【男女共同参画センター事業】

機能	事業	内容
情報	情報発信	男女共同参画に関する情報をホームページや「いわて女性のチャレンジ支援サイト」により発信。新しい情報の更新。
	情報誌の発行	情報紙 Joinを年1回発行 各15,000部
	図書、ビデオ、資料の配架	○男女共同参画に関する書籍、ビデオ、資料を整備し、男女共同参画コーナーに配架。 ○内閣府男女共同参画局、国立女性教育会館、各都道府県、他県男女共同参画センターの資料を配架。
学習	いわて男女共同参画推進月間事業	いわて男女共同参画フェスティバル(19年6月17日(日)アイーナ) ○内容:講演やワークショップ(分科会、展示、販売など)の開催 ○ワークショップの開催 25程度(分科会5・展示10・販売10) ○参加者:県内市町村から約750人程度 ○実行委員による企画・運営、運営ボランティアは一般募集
	出前講座	□職員派遣事業 ○通年で実施。市町村・商工・農業等各種団体に呼びかけ、要請に応じ職員を講師として派遣。 ○講座内容:男女共同参画推進条例、男女共同参画プラン、DV等 □講師招聘事業 ○アイーナで実施する講座を県内3地域で開催する出張講座。
	男女が共に学ぶ講座	○男女共同参画を広く理解してもらうための講座の開催 ○内容:ボランティア・NPO活動等地域活動の事例、ライフプランの作成
	男性向け講座	○男性も家事・育児等に積極的に参加し、仕事と子育て・介護の両立支援のための環境づくりを行う。 ○内容:男性の料理教室、父と子のクッキング教室、親子で一緒に遊ぼう
	女性のチャレンジ支援講座	○女性のキャリアアップ、スキルアップを図る講座の開催 ○内容:スキルアップ講座、アサーティブトレーニング講座、ファシリテーション講座
	男女共同参画県民活動推進事業	県民自らの意思・企画による実施する事業に対し、その費用を支援し、県民の自発的活動を活発化させるとともに、応募団体の企画力・プレゼンテーション能力の向上を図る。 ○1団体あたり、20万円を限度とし、年間3団体程度を対象。 ○事業の採択にあたっては、応募団体の公開プレゼンテーションにより決定
	いわて男女共同参画サポーター養成事業	○19年度講座実施期間:平成19年5月~11月 ○開催回数6回・12講座実施(講座内容:男女共同参画概論、ジェンダーへの気づき、女性への暴力、政策決定過程への参画等) ○募集:50人
	女性の再チャレンジ支援事業	結婚や出産、子育てのため離職したが、個性と能力を活かして再就職したい女性や、職場復帰前の育児休業者に対する情報提供や不安解消、技術の再就職の支援。再チャレンジ支援を支える家族の理解の促進。 ○再チャレンジに必要な情報の収集・提供 ○再チャレンジを相談できる窓口サービスの設置 ○スキルアップ講座、ライフプラン設計のセミナー実施
相談	【通常相談】	相談員による男女共同参画社会の実現に向けた、生き方・家族・健康などに関する相談。 ○相談時間:9:00~16:00(火・金は9:00~20:00) ○常勤相談員2名配置、ほか非常勤相談員数名
	【専門相談】	専門家による法律、女性の医療、介護、労働に関する相談の実施。 ○毎月各1回、2~4時間
交流	活動交流	男女共同参画の関連団体間の連携を促進するためのネットワークの構築 ○団体の活動の情報交換、男女共同参画センター内での活動発表、展示などを支援する。

2 岩手県におけるチャレンジ支援に関する施策について

【現状認識】

- ・ 平成 18 年度に県が実施した意識調査では、女性の 37.4%が「仕事と家庭・社会活動を両立すること」を望ましいとしているのに対し、現実に両立している女性は 16.2%であった。
- ・ 一方、仕事に専念すること（理想 2.2%→現実 10.6%）、家庭・社会活動に専念すること（理想 2.2%→現実 13.7%）を望ましいとする女性は少ないのに対し、現実はその傾向が強くなっている。
- ・ 「両立」という理想が高いのに対し、現実にはそうはっていない現状を踏まえれば、女性のチャレンジ支援の必要性は依然として高いことがうかがえる。

(1) 女性のチャレンジ支援サイト

平成 16 年度開設。

女性の様々なチャレンジの要望に対し、支援機関や活動拠点などの情報を提供。



(2) 女性のチャレンジ支援講座

男女共同参画センターの開設に伴い、女性のスキルアップを目的とした講座を開設。

平成 18 年度実績

実施回	開催日	講座名	講座内容	定員	受講者
第 1 回	18.09.12	キャリアアップ講座□	人が嬉しいと感じる接し方、間の持ち方（空間）と家族が集まる空間の使い方	20	22
第 2 回	18.09.13	キャリアアップ講座□		20	21
第 3 回	18.09.20	アサーティブ講座	自己認識を深め、よりよい人間関係づくりを促進	30	41
第 4 回	18.09.26	マネースクール	初心者向け資産形成と生命保険に関する基礎知識	25	22
第 5 回	18.10.03	ファシリテーター講座	ファシリテーターの基本姿勢を学ぶ	30	36
第 6 回	18.12.02	コーチング講座□・□～相手 をうまく活かせる会話術～	自己診断から自分を見つめ直し、その結果からコミュニケーションの持ち方を再検討	20	26
第 7 回	18.12.03		20	24	
第 8 回	18.12.06	パソコン講座□in 一関	Outlook を使って、スケジュール管理を作成、それを活用してカレンダーを作成	15	10
第 9 回	18.12.07	パソコン講座□in 一関		15	10
第 10 回	18.02.22	パソコン教室□	ホームページビルダーの基礎知識と、トップページ、オリジナルページの作成。ブログの作成	20	22
第 11 回	18.02.23	パソコン教室□		20	22
合計			【申込者数 363】	235	256

受講の状況

- ・ マネースクール及び地方（一関市）での開催を除き、定員を超える受講があった。
- ・ 20代15.6%、30代27.5%、40代32.7%、50代以上24.3%と40代の参加者が最も多く、30代、40代の参加者が過半数を占めた。

(3) 女性の再チャレンジ支援

- ・ チャレンジ支援の中でも、再チャレンジ支援は、少子化対策としても、その必要性は本県においても高い。
- ・ 平成18年の県の意識調査では、サンプル数は少ないものの、既婚かつ現在無職の女性で、「仕事に就きたいが当面予定はない」と回答した女性は20代、40代で80%超、30代では100%であった。
- ・ 平成18年度の男女共同参画センターの開設を契機に、平成18年、19年の国の再チャレンジ支援のモデル地域の指定を受ける。

女性の再チャレンジ支援講座

再就職等のための知識や技術の取得、起業に向けた知識の習得や実践者の事例を紹介する講座の開設。原則として13回参加できる方を募集。

【平成18年度実績】

実施回	開催日	講座名	講座内容	定員	受講者
第1回	19.01.22	キャリアライフ・デザイン	自己を振り返り、これまでの職歴・経験などから、	30	20
第2回	19.01.23	セミナー□・□	今後自分が出来ることを探す。	30	19
第3回	19.01.24	再チャレンジ計画シート	就職に向けたチャレンジ計画を作成	30	20
第4回	19.01.27	知っておきたい働くうえ	就労のための法律・社会保険・税金を学ぶ	30	14
第5回	19.01.29	就業環境の今	現在の就労環境を学び、自己の働き方を探す	30	17
第6回	19.02.05	女性起業家のために学ぶ	起業家の体験を聴き、その実践を学ぶ	30	18
第7回	19.02.06	ビジネスメイク講習	メイクのコツなどビジネススタイルを学ぶ	30	16
第8回	19.02.07	子育て中の就労体験	子育て中の就労者からその実際を学ぶ	30	15
第9回	19.02.08	職場で求められる人材と	ビジネスに役立つコミュニケーション能力を養う	30	20
第10回	19.02.09	ビジネスマナーと話し方	面接や自己PRの仕方・話し方などの実技を学ぶ	30	16
第11回	19.02.19	パソコン教室□	基本的なアプリケーションを学ぶ。	30	17
第12回	19.02.20	パソコン教室□	○Word ○Excel	30	16
第13回	19.02.21	パソコン教室□	○インターネット	30	16
合計			【申込者数 22】	390	224

【受講の状況】

- ・ 20代15%、30代35%、40代25%、50代以上25%と30代の参加者が最も多く、チャレンジ支援講座と同様に30代、40代の参加者が過半数を占めた。
- ・ 受講者は時期に差はあるものの、現在無職で将来的に就職したい意向を持っていた。
- ・ 受講者22名中、正社員として採用された者はいないが、7名が有期の臨時的業務に、2名が不定期のアルバイトに従事しているほか、2名は就職口はあるものの保育園が決まらず、現在待機中となっている。

企業訪問

- ・ 再チャレンジ支援に係る職場開拓、雇用環境整備のための企業訪問を、中小企業の次世代育成促進のための「事業主行動計画」策定を進める保健福祉部と協力して実施。
- ・ 平成18年度は264社を訪問。平成19年度は300社を予定。

再チャレンジ支援のための情報提供、相談

- ・ 女性の再チャレンジ支援情報コーナーの設置
ハローワーク求人情報、民間求人誌、他機関パンフレット、関連図書等を配架。
 - ・ 男女共同参画センター内に再チャレンジ支援相談窓口を設置。(産業カウンセラーの資格を有する相談員あり)ほかに月1回の社会保険労務士による専門相談。
 - ・ 出前ミニ講座・相談の実施。(平成19年度)
県内10箇所地域子育て支援センターやつどいの広場等を活用した出前講座を実施。
- 関係機関との連携
- ・ 「いわて女性の再チャレンジ支援連絡会議」における関係機関との協力・連携体制の構築。
 - ・ 平成19年度開設した「マザーズサロン」との連携。

(4) 今後の課題

- ・ 支援の全県的な広がり
男女共同参画センターが開設する講座だけでは具体的な支援に限界がある。これからは市町村または民間団体の主体的な支援(講座などの直接的な支援)を促していく必要がある。
- ・ 男女共同参画センターの情報機能の強化
広い県土と全県的な広がりを踏まえれば男女共同参画センターは後方支援の役割が強くなると考えられる。講師のコーディネート、講座開設のアドバイスといったアドバイザー的な業務に加え、ワンストップ機能の強化(チャレンジ支援サイトの充実)、ハローワーク、21世紀職業財団等の関係機関との一層の連携など情報機能の一層の強化が必要となる。
- ・ 女性のチャレンジに対する社会的理解の醸成
これまでの取組みにより、女性のチャレンジに対する社会的理解は深まってきているところではあるが、女性に対する支援と共に、社会的理解を深める取組みも一層必要である。

(平成19年度女性の再チャレンジ支援講座チラシ)

女性のための再就職支援講座

子育てが一段落したので働きたい
自分の能力を活かして何かを始めたい
新しい自分を発見したい

今度は何色の花を
咲かせますか？

日時: 平成19年9月21日(金)～10月12日(金)
14日間 全28講座 10:00～15:00
会場: いわて県民情報交流センター(アイーナ)
定員: 30名
対象: 再就職・職場復帰等を希望している女性で
全講座中8割以上受講できる方
費用: 無料(教材・実習費3000円別途)
託児: 1歳～未就学児5名 1人1日300円
申込: 9月4日(火)10:00より電話にて

講師紹介:

西條ユキコ
キャリアアップアドバイザー
元) 自営事業アドバイザー
元) 岩手県「自営ユキコのキャリアアップ講座」講師中
岩手県日テレ「わくわく情報館」出演中

菅原 初江
元) 岩手県
日本IT協会認定
国家資格「総務ファイナンスプランニング技術士

高橋 美幸
M1 C O E S1 O N 主催
リビングスタイリスト1級
N H K 出演「マスタラQ&A」エプロンメモ 出演

東海林 千秋
専門学校岩手カレッジビジネス
シニアビジネス科 講師

堀野 ひろえ
ヘアメイクアーティストとしてCM制作に携わる

主催・問い合わせ
男女共同参画センター
Tel.019-606-1761

後援:
財団法人21世紀職業財団岩手事務所
盛岡公共職業安定所
岩手県立大学

3 チャレンジ支援以外で特に力を入れている事業

「いわて男女共同参画サポーターの養成」

(1) 目的

男女共同参画に興味・関心があり、男女共同参画の推進活動に意欲のある県民を「男女共同参画サポーター」として養成し、県及び各地域における男女共同参画に向けた機運の醸成と活動の促進を図る。

(2) 活動内容

あくまでも自主的な活動を促すものであり、県として活動を強制するものはない。

(例)

- ・ 市町村男女共同参画計画づくりへの参画
- ・ 男女共同参画の推進のための地域での自主的な取り組み・活動
- ・ 地域の方々への男女共同参画に関する情報の提供
- ・ 男女共同参画の推進に関するワーキンググループの結成
- ・ 男女共同参画センターが主催する「男女共同参画フェスティバル」企画実行委員又は運営ボランティア
- ・ 男女共同参画センターが発行する男女共同参画情報紙（Join）の編集
- ・ 男女共同参画センターの運営ボランティア

(3) 認定状況

- ・ 平成12年度から平成18年度までに408名を養成。

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	計
認定者数	65	50	52	59	59	50	73	408

- ・ 35市町村中33市町村でサポーターを認定。

(4) サポーターへの支援

- ・ 男女共同参画情報誌「Join」の配布ほか情報提供
- ・ ステップアップ講座の開催

(5) 成果

- ・ 自主的な活動組織「いわて男女共同参画サポーター」の会が組織され、各ブロック単位で主体的な啓発活動が行われている。
- ・ 市町村主催セミナーでの講師、活動発表者、市町村事業の企画・運営協力を行っている。
- ・ 自主的活動グループの中核として活躍している。
- ・ 県や市町村の審議会等の委員として任命されている。

(6) 課題

- ・ 「サポーターの会」の会員が多くなり、サポーター間で意識の差が生じている。（知識欲はあるが具体的な活動に至っていないサポーターが増えている。）
- ・ 市町村によってサポーターの活用に差がある。
- ・ 事業開始直後は自主的な活動を中心としてきたが、ほぼ全市町村に認定される状況となり、サポーターを積極的に活用する施策が求められている。

○ 男女共同参画サポーターの活動

男女共同参画サポーターは、平成18年度までで408名（女性378、男性30）を認定。

平成16年度までの認定者は、その後、県内各地において、講演等講師、県・市町村事業への運営協力などに積極的な活動を行っている。

<主な活動事例>

- ・ 市町村主催セミナーにおける講師
- ・ 県・市町村主催セミナー等の企画・運営協力
- ・ 県・市町村主催セミナー等への参加
- ・ 自主的活動グループへの出前講師
- ・ 県・市町村男女共同参画広報誌の編集委員
- ・ 自主的活動グループへの参加

県、市町村の各種審議会等の委員として任命されているサポーターも多い。

<主な審議会等>

（県）	（市町村）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画審議会 ・ 男女共同参画審議会 ・ 青少年育成委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合発展計画審議会 ・ 男女共同参画審議会（懇談会） ・ まちづくり推進委員会 等

男女共同参画計画を策定した20市町村のうち、13市町村で男女共同参画サポーターが審議会等委員又は作業部会等委員として計画の策定に携わった。

サポーターがつくる「いわて男女共同参画サポーターの会」においても、年に1～2の地域ブロックで、普及・啓発セミナーを主催している。

【男女共同参画サポーター認定後の活動状況（H12～H16認定者）】

認定年度	サポーター認定後の活動状況								
	活動状況有	活動状況延べ数	内 訳						その他の地域活動・ボランティア活動
			講演等講師	助言者	意見発表者・パネラー	県・市町村事業への運営協力	講演会等へ参加	投稿	
H12	15	89	29	2	8	18	12	4	16
H13	9	59	16	1	4	3	23	0	12
H14	9	51	3	5	5	10	11	3	14
H15	21	181	10	7	15	52	70	0	27
H16	34	161	1	0	9	55	48	3	45
計	88	541	59	15	41	138	164	10	114

青少年・男女共同参画課でH17に実施したアンケートに回答したサポーターの活動状況である。